

令和6年度 虐待被害児診察技術研修

虐待・ネグレクトを受けたと疑われる子どもの系統的全身診察は、性器・肛門だけでなく、全身を診察できる技術を有し、子ども虐待・ネグレクト全般に関して研修を受けた医師が行う必要があります。

○ なぜ、子ども虐待・ネグレクトについて知っている必要があるのでしょうか？

「性虐待被害を受けた子どもの性器・肛門は傷ついているはずだ」と誤解されがちですが、性虐待の特徴として、性器・肛門が傷ついていないことも多く、また、傷ついたとしても粘膜は治癒しやすいため、診察時に所見が見られないことが多いのです。だからといって、性被害がなかったというわけではありません。医師がこのような知識を持つことは、子どもたちの被害を見逃さないために大切であり、不安をいっぱい抱えている子どもに「あなたのからだはだいじょうぶ」と専門性を有する医師が伝えることで、子どもの心の負担を軽減してあげることができます。

○ 系統的全身診察とはどのようなものなのでしょうか？

系統的全身診察は、性器や肛門など性的な挿入が疑われる部分のみを診るものではありません。頭のとっぺんからつま先まで、身体のパーツ一つ一つを子どもに問診しながら診ていきます。そうすることによって、合併する他の虐待・ネグレクトの評価ができますし、乳房や性器・肛門などプライベートな部分を診察される際の子どもの羞恥心や不安を低減することで、診察による二次被害を防ぐことができます。

会場：子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室

日程：第1回 令和6年 6月 8日(土)～ 9日(日) 第2回 令和6年 9月21日(土)～22日(日)
第3回 令和6年11月 2日(土)～ 3日(日) 第4回 令和7年 1月25日(土)～26日(日)
第5回 令和7年 3月15日(土)～16日(日)

受講料：前半講義（1日目）のみ：4,400円税込／ 前半講義と後半講義及び実技：15,400円税込

時間	内容
1日目 14:00～19:00	【前半講義】対象者：子ども虐待に関わる全ての職種 「性虐待概論」および「多機関連携チーム概論」：性虐待事例への対応策や被害児からの聞き取りに関して、多機関が連携して対応する方法などについて学びます。
2日目 9:00～18:00 (昼食休憩含む)	【後半講義と実技】対象者：医師、助産師、保健師、看護師等医療者 「診察方法概論」および実技：性虐待被害児の診察方法を講義した後、等身大の幼児のドールやシミュレーターを使って診察の実技を学びます。診察の際、子どもにどのように問診するかなど、豊富な資料と質疑を交えて具体的に研修します。 ※ 児童福祉司、警察官、検察官で参加希望の方もご参加いただけます。

お申込み：当法人ホームページのお申込みフォームよりご登録をお願いいたします。

<https://cfj.childfirst.or.jp/medtech/>



お問い合わせ：認定NPO法人 チャイルドファーストジャパン

〒259-1132 神奈川県伊勢原市桜台1-5-31 2階 B号室

電話：0463-90-2715 / mail：info@cf-j.childfirst.or.jp

※本研修は、公益社団法人日本小児科医会「子どもの心」相談医研修単位5単位に承認されています。